

平成27年度 決算状況				27年国調 22年国調 増減率		33,445人 33,497人 -0.2%		人口密度 16.85knf 1,985人		区分 28. 1. 1 27. 1. 1 増減率		住民基本台帳人口 うち日本人 33,905人 33,808人 0.3%		産業構造 22年国調 17年国調			都道府県名 13 東京都		団体名 3035 瑞穂町		市町村類型 地方交付税種地		V-2 2-6	
歳入の状況 (単位:千円・%)				第1次		322 2.1 2.1		第2次		5,014 32.6 34.9		第3次		10,034 65.3 60.0		区分		平成27年度(千円)		平成26年度(千円)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況 (単位:千円・%)												区分		平成27年度(千円)		平成26年度(千円)			
地方譲与税	6,703,083	48.5	6,167,198	76.8	普通	6,167,198	92.0	68,505	1.0	固定資産税	3,090,799	46.1	うち純固定資産税	3,090,799	46.1	指	13,812,385	14,226,879	13,413,146	13,885,529				
地方譲与税	79,460	0.6	79,460	1.0	法	6,167,198	92.0	68,505	1.0	軽自動車税	68,774	1.0	市町村たばこ税	423,234	6.3	支	399,239	341,350	68,223	18,911				
配子割交付金	27,072	0.2	27,072	0.3	市	2,511,613	37.5	68,505	1.0	市町村たばこ税	423,234	6.3	特別土地保有税	-	-	実	331,016	322,439	68,223	18,911				
配当割交付金	32,484	0.2	32,484	0.4	町	2,511,613	37.5	68,505	1.0	法	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	積	8,577	-53,107	68,223	18,911				
株式等譲渡所得割交付金	31,953	0.2	31,953	0.4	村	2,511,613	37.5	68,505	1.0	定	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	立	143,289	182,895	68,223	18,911				
地方消費税交付金	860,964	6.2	860,964	10.7	民	2,511,613	37.5	68,505	1.0	外	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	上	-	-	68,223	18,911				
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	税	2,511,613	37.5	68,505	1.0	目	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	取	265,000	202,000	68,223	18,911				
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	所	2,511,613	37.5	68,505	1.0	的	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	入	-113,134	-72,212	68,223	18,911				
自動車取得税交付金	35,750	0.3	35,750	0.4	得	1,750,616	26.1	-	-	税	535,885	8.0	特別土地保有税	-	-	支	-	-	68,223	18,911				
軽油引取税交付金	-	-	-	-	割	151,661	2.3	-	-	均	151,661	2.3	特別土地保有税	-	-	実	331,016	322,439	68,223	18,911				
地方特例交付金	25,749	0.2	25,749	0.3	等	552,745	8.2	-	-	割	552,745	8.2	特別土地保有税	-	-	積	8,577	-53,107	68,223	18,911				
地方交付税	51,432	0.4	-	-	割	552,745	8.2	-	-	割	552,745	8.2	特別土地保有税	-	-	立	143,289	182,895	68,223	18,911				
内	-	-	-	-	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	金	265,000	202,000	68,223	18,911				
特別交付税	51,431	0.4	-	-	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	取	-113,134	-72,212	68,223	18,911				
歌	1	0.0	-	-	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	支	-	-	68,223	18,911				
(一般財源計)	7,847,947	56.8	7,260,630	90.4	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	実	331,016	322,439	68,223	18,911				
交通安全対策特別交付金	8,125	0.1	8,125	0.1	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	積	8,577	-53,107	68,223	18,911				
分担金・負担金	64,691	0.5	-	-	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	立	143,289	182,895	68,223	18,911				
使用料	74,031	0.5	2,818	0.0	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	上	-	-	68,223	18,911				
手数料	152,897	1.1	-	-	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	取	265,000	202,000	68,223	18,911				
国庫支出金	1,607,116	11.6	-	-	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	入	-113,134	-72,212	68,223	18,911				
国有提供交付金	752,425	5.4	752,425	9.4	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	支	-	-	68,223	18,911				
(特別区財調交付金)	2,005,557	14.5	-	-	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	実	331,016	322,439	68,223	18,911				
都道府県支出金	21,001	0.2	105	0.0	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	積	8,577	-53,107	68,223	18,911				
財産取	1,310	0.0	-	-	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	立	143,289	182,895	68,223	18,911				
寄附入金	480,105	3.5	-	-	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	上	-	-	68,223	18,911				
繰越入金	341,350	2.5	-	-	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	取	265,000	202,000	68,223	18,911				
繰越入金	125,830	0.9	3,361	0.0	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	入	-113,134	-72,212	68,223	18,911				
繰越入金	330,000	2.4	-	-	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	支	-	-	68,223	18,911				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	割	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	実	331,016	322,439	68,223	18,911				
うち臨時財政対策債	-	-	-	-	均	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	積	8,577	-53,107	68,223	18,911				
歳入合計	13,812,385	100.0	8,027,464	100.0	等	3,163,577	47.2	-	-	割	3,163,577	47.2	特別土地保有税	-	-	立	143,289	182,895	68,223	18,911				

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同団体施行事業費負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含み、
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)